

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回戸田市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和5年7月26日(水) 午前10時00分～午前11時55分
開催場所	新曽南庁舎 4階 会議室
会長氏名	石井晴夫
出席者名(委員)	石井会長、宮田副会長、大貝委員、金井委員、川杉委員、清水委員、山本委員、吉川委員、渡辺委員
欠席者名(委員)	酒井委員
事務局	水安全部長 渡邊 昌彦 水安全部次長兼総務課長 東口 俊博 水安全部次長兼水道施設課長 山老 英巳 下水道施設課長 寺尾 亮 総務課主幹 佐藤 清彦 総務課主幹 櫻井 裕美 水道施設課主幹 吉田 雅也 下水道施設課主幹 保倉 義広
議 題	案件1「水道ビジョン及び下水道ビジョン(令和4年度分等)評価について」 案件2「令和4年度上下水道事業包括委託モニタリング結果について」 案件3「令和5年度戸田市上下水道事業予算について」 案件4「雨水整備事業について」
会議結果	案件1「水道ビジョン及び下水道ビジョン(令和4年度分等)評価について」 施策評価について、事務局案を承認。 案件2「令和4年度上下水道事業包括委託モニタリング結果について」 令和4年度上下水道事業包括委託モニタリング結果について報告。 案件3「令和5年度戸田市上下水道事業予算について」 令和5年度戸田市上下水道事業予算について報告。 案件4「雨水整備事業について」 雨水整備事業について報告。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり

事務局	<p>【開会】</p> <p>【資料確認】</p> <p>【水安全部長挨拶】</p> <p>【委員紹介】</p> <p>【事務局紹介】</p> <p>【副会長選任】</p> <p>【副会長挨拶】</p> <p>【委員出欠状況報告】</p> <p>委員総数 10 名のうち、半数以上の 9 名が出席したため、戸田市上下水道事業経営審議会条例第 5 条第 2 項の規定により会議成立。</p>
議長	<p>水道ビジョンについて、事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>【水道ビジョン（令和 4 年度分等）評価について説明】</p>
委員	<p>1 「安全」で安心して飲める水道（1）地下水の保全と適正な利用のところで、井戸水の定期点検の実施状況について伺う。多摩地域で地下水にフッ素化合物が含有されているという報道があり問題となっている。戸田市でも地下水を汲んでいるが、この検査は実施しているか。</p>
事務局	<p>有機物フッ素化合物 PFOS・PFOA の検査項目については、厚生労働省の 51 項目の水質基準項目に入っていないが、水質管理目標設定項目には入っている。これについて、本市では水質検査を実施し、基準値内であることを確認し、本市の水は安全なものであることを、市の HP 等でその結果を公</p>

委員	<p>開している。</p> <p>フッ素化合物は、一般的にフライパンなどのテフロン加工に使っていたり、フッ素入り歯磨き粉などの商品もあるので、それほど心配することはないと思うが、多摩川地区や横田基地で泡消火剤にフッ素化合物が入っていて、地下水に基準値以上の数値がでていたという報道もされていたので伺った。</p>
議長	<p>今の委員の指摘は、米軍基地などを含めて空港周辺地域で指摘されている事項である。有機物フッ素化合物は泡消火剤などに使われており、飛行機の火災時や飛行機の洗浄にも使われている。時々訓練をするのに飛行機に向けて実際に実施訓練を行うが、そのまま地下に浸透してしまうこともある。PFOS・PFOA に関しては、厚生労働省としても対応している。事務局での説明にもあったとおり、現在水道法上の水質基準は51項目あるが、国の方では、52項目にPFOS・PFOAを追加すべきという意見も挙がっているくらい、このご指摘は重要な問題である。幸い埼玉県の県南においては安全だということころで、安堵している。確かに多摩地区は地下水の宝庫で、大きな水脈があるので、その辺りについて国の方もしっかり対応するという話を聞いている。</p>
委員	<p>昨日の夕方、NHK のニュースで長野市の水道局の取り組みで、長野市の水道管が老朽化し 2,400 km 中 600 km 超が 40 年以上経過しているとのことであった。そこで、手作業で実施していた漏水調査を最新の技術を利用し、人工衛星マイクロ波の跳ね返りで1分あたり0.1リットルの漏水でも発見できるようになったとの話である。結果として、10年で点検するところを2年に短縮でき、コストも相当下がるという報道がされていた。長野市水道局は、対応する担い手が徐々に減ってきているということもあり、他にも様々な技術を使い、漏水の調査だけでなく、色々な取り組みをしていくそうである。また、そこでは、イスラエル IT 企業が開発した技術を使っているということであった。戸田市でも種々検討されていると思うが、そうした各自治体の知見などを活用する予定などはあるか。</p>

事務局	<p>今、委員から質問があった衛星を使った漏水箇所の発見というのは、業界紙や研修等を通じて見聞きしている。ただ、愛知県や、今紹介のあった長野市などは、そういったことをテスト的にやっている面もあり、今後も展開していくときには料金体系が少し高めに設定されるようなことも一部書いてあった。そのような先進事業者の動向等を踏まえ、新技術を今後、本市でも取り入れることが可能かどうか、調査・研究は引き続きしていきたいと考えている。今のところは、従前より実施している音調調査や目視調査などによって漏水の早期発見を実施していきたいと考える。</p>
議長	<p>副会長に聞くが、この件について、衛星による漏水箇所の発見というのは、精度はどの程度なのか。</p>
副会長	<p>愛知県豊田市や福島会津若松圏域などいくつかの団体で実施しているという話は聞いているが、精度はまだそこまで高いというわけではないようだ。</p>
委員	<p>昨日の報道では、半径 100 メートルの範囲で、1 分あたり 0.1 リットルの漏水は、衛星によるマイクロ波で発見できるようだ。</p>
副会長	<p>まだそんなに長い技術ではなく、精度についても正確な精度を確認したわけではないが、そこまで高くはないという話は聞いているので、事例等結果をみながら導入については検討した方がいいと考える。導入費用も高く、範囲が広がることで費用も更に上がるので、先行事例の結果・成果を踏まえて検討していくべきだと思う。</p>
委員	<p>昨日の報道だと、更新作業が追いつかないため、漏水調査を最新技術で行うことで、10 年かかるものを 2 年で実施でき、点検コストも結果的に下がるうえ、その作業にあたる担い手は人口減少で益々減っている所以需要であるとのことである。</p>
委員	<p>これは、少子高齢化で労働人口の減少という観点からの先進技術の紹介の一つという観点での報道であった。まだ革新的な技術なのでこれからどう変</p>

	<p>わるのか、日本の技術の発展は企業も理解できないスピードがあると思うので、従来なら考えられなかったことまで進み、他の産業の分野でも、同様にもっと進むのだろうと思う。そのため、注視していくというのは必要なことだろうと思う。</p>
委員	<p>いろいろな技術が出てくると思う。</p>
議長	<p>ぜひ事務局もしっかり注視していただきコストやマンパワー等色々あると思うが、検討していただきたい。</p> <p>続いて、下水道ビジョンについて、事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>【下水道ビジョン（令和4年度分等）評価について説明】</p>
議長	<p>下水道ビジョンについて、事務局の説明が終わったので同様に何か意見・質問等をお願いしたい。</p> <p>出前講座は小学校からか。</p>
事務局	<p>小学校に限らずである。</p>
議長	<p>要望があればどこからでも受け付けているということか。</p>
事務局	<p>要望があればどこでも大丈夫。</p>
議長	<p>それはどこで周知しているのか。HP か。</p>
事務局	<p>HP や広報で周知している。</p>
議長	<p>（1）経営計画の着実な実行②計画の策定の企業債残高で、133 億円に修正報告をいただいているが、96 億円との差額の 37 億円というのは、経費や資材費の高騰等が原因であるのか。何が原因なのか。</p>
事務局	<p>ビジョンを作成した当時は、雨水貯留管工事を実施するということが決ま</p>

議長	<p>っていなかったもので、その工事分を追加計上したものである。全体の工事費は73億円であり、半分の36.5億円は国庫補助金から支出されるため、残りの36.5億円が起債の金額になる。</p> <p>一方では、現在、資材費の高騰が急激であるが、それは大丈夫なのか。</p>
事務局	<p>後ほどまた説明するが、73億円から工事費がやはり人件費、資材価格の高騰などで増額となった。その分については、この数値に反映はされていないが、これをまた変更するのか、133億円のままでいくのかという事については、今後また検討していきたいと思う。</p>
委員	<p>雨水貯留管の着工直前だったのかな、お聞きしたときに70億円という数字が記憶にあるが、今の話だと73億円とのこと。3億円増えたのか、それとも当初から73億円だったのか。</p>
事務局	<p>去年の段階で73億円と決定していた。その時、概算の金額で説明していたのかもしれない。</p>
委員	<p>3億円の差というのはちょっと高いかなと感じる。私の中で70億円と切りのいい数字を聞いた記憶がある。</p>
委員	<p>貯留管が、満杯になるとどのくらいの量の水が溜められるのか。</p>
事務局	<p>容量としては26,000 m³。小学校のプールの容量で換算すると86杯分に相当する。</p>
委員	<p>最近、笹目川の堰を上げる県の工事があるが、堰を上げると笹目川流域とさくら川流域の水位が上がってしまう。それでボートコースの水をあらかじめ抜いて、1m下げるとどのくらいの量になるのか。ボートコースの水位を下げれば、それは一種、遊水池になるわけである。これはどっちが得なのか。事前にボートコースの水位を1m下げると、どのくらいの量になるか。</p>

委員	ボートコースの水を1 m抜いておけば、相当量の水を貯留できるはずである。
事務局	ボートコースの活用に関して、水位を下げられるかについては多方面から話があるが、管理が県になるため、県で検討していただいている。ボートレースや護岸の安全性など多くの問題があり、1 mからもっとというのは、慎重に検討を要することになる。簡単な電卓上の計算にはなるが、1 m下げると21万6,000 m ³ の水量が確保できる。
委員	21万6,000 m ³ の水量が確保できるのに対し貯留管だと2万6,000 m ³ 。ボートコースの水位を1 m下げると21万m ³ なので相当な量である。こちらの方が簡単で安いと思われる。ボートレース開催時に、水位が下がるとレースが開催できなくなってしまうから、その分補償しなければならない等の意見もあるが、それでも工事費用に比べたら安い。
委員	1 mでなくても10 cmくらいでもいいのではないだろうか。
委員	10 cmだとどのくらいになるのか。
事務局	2万1,000 m ³ となる。
委員	貯留管で溜められる量と変わらない計算だ。
委員	比較するときの考慮しなければならないことの一つに、内水氾濫の場所の問題、どれだけの住民に被害があるかなど、様々な観点から比較しなければならない。比較するとき、こっちが大事で、あっちが大事ではないとの話ではないけれども、そこは客観的に住民の数であるとかの話になるのではないかということである。
事務局	県としては県河川の水を溢れさせてはいけないという使命がある。また市としては下水道の内水被害を防ぐため、雨水を排水させなければいけない。それぞれ違う立場での業務となるが、被害を防ぐにはどうすべきか連携を

議長	<p>図りながら進めているところである。</p> <p>災害時の今一番問題になっているのは、内水氾濫である。数年前の多摩川の内水氾濫の時もそうであったが、川沿い近くになり、平地になればなるほど、多摩川も荒川も同様に、豪雨の際には他の小規模河川から本流に入って来なくなってしまうことが考えられる。戸田市や埼玉県もおそらく相当検討していて、下水道事業団の方も様々なリスクの検知を行っている。戸田市の地形としては、この戸田駅周辺が想定的に地盤が低いので、浸水の危険度が高いところである。特に戸田駅の北側から北大通りに面して消防署付近が一番の浸水区域で、ハザードマップ上でも危険度が高い場所に貯留管を設置するという内容である。リスク回避として多分、ボートコースの活用も考えていると思う。市民の皆さんが一番安全な生活を送れるためには、やはりいかにリスクを減らせるのかが一番大事であると思うので、この貯留管の26,000 m³というのは規模が大きく市民生活の安全も大いに増すものと思われる。雨水をポンプで抜くスピードも速いので、雨水を逃がすという観点から見ると、技術的にも科学的にも正当性があるのではないかと思う。ぜひ市民の安心・安全をこれからも市としてもしっかり守っていただきたい。</p>
委員	<p>2019年に荒川は氾濫しなかったが、結構水位が高くなり、彩湖はだいぶ浸水した。ボート場の裏手に行って一部土のうを設置したと記憶している。今回、貯水管を布設する近辺は、2019年にも結構内水被害が出たのではないか。当然、2019年のそういう状況をみて、工事を進めているのではないかと思っている。</p>
委員	<p>今回の雨水貯留管もかなりコストをかけてあの辺に住んでいる方の住民の安全を守っている。一方で安全の裏返しでコストを回収しなければならない。今後、下水道料金についても、検討していかざるを得ないと思う。結局お金はどこから出てくるのかということ、やはり使っている方々からもらうしかないのでは、その辺も、市民に受けは良くないかもしれないけれども、そういう話をしていくべきである。特に議員も含めて、一緒に対話が必要である。そして結果として命が守られる。2019年の事をいえば、彩湖には東京の都議等も来て、これで荒川区や墨田区の住民が守られているのだと言っている。</p>

	<p>一方で、そういう方々が本当は受益者であるのだから料金の一部でも払って欲しいとも思う。また、CO2でも排出権なりいろいろなやり取りがあるから、そういうことも戸田市だったら、あれは国の管理になっていると思うので難しい部分もあると思うが、その辺もコストがかかる分にはどうしてもお願いせざるを得ないと思う。安全であるということを市民の皆さんに広報で、また議員を通じて市民の方々の理解を得ていけばいいと思う。このような審議会を活用するのももちろん有効である。</p>
議長	<p>大変重要な指摘をいただいたので、ゆくゆくは東京都民の安全を戸田市あるいは埼玉県の間南で守っているということ、費用負担の問題も含めて考えていただければと思う。仮に、首都圏で大災害が起これば、戸田市や川口市に都民の皆さんが避難してくるのは紛れもない事実である。そういうところも含めて、首都圏全体の安全・強靱というものを、幅広く考えていくことが国や政府は必要である。</p>
委員	<p>先ほどの意見だが、彩湖の水がいっぱい溜まってくると不安になる。その点を改善していただきたい。</p>
議長	<p>それではまだいくつか検討事項があるので、とりあえず資料1及び資料2の事務局案を了承するというところで、よろしいか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
議長	<p>はい、それでは、事務局案の通り承認することとする。 続いて、案件2「令和4年度上下水道事業包括委託モニタリング結果について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【令和4年度上下水道事業包括委託モニタリング結果についての説明】</p>
議長	<p>事務局の説明が終わったので、何か意見・質問等があればお願いしたい。 包括委託業務は、令和3年から令和7年の5年間の契約期間であるから、ちょうど今3年目というところである。</p>

委員	<p>評価結果については、AもあるがBが多い。普通に問題なく受付業務を実施しているのであればAでもいいと感じる。Bというのは何かマイナス点があるということか。AとBの評価の違いは何か。</p>
事務局	<p>先程のビジョンの評価は、目標値に対する評価であるため目標以上できていればAということになる。しかし、包括委託業務については契約行為になるため、定められた契約内容が履行された場合、Bという評価になる。ビジョンの評価基準と異なり、契約した内容を履行すればBなので、違和感を覚える方もいるかもしれないが、それぞれ異なった基準であるためこのような評価になる。</p>
委員	<p>それでは、通常がBということが分かった。普通、全て順調に実施していればAという感覚があったので、Bという評価が低く感じてしまった。</p>
事務局	<p>Aというのは契約以上又は期待した以上の内容で履行した場合の評価となっており、今回で言えば一部浄水場運用などについて、期待値以上のことが実施されたということでAをつけており、非常に例外的なものである。通常は契約内容でお互いの義務を果たすという基準が、普通に相当する評価Bとなる。</p>
委員	<p>どんな時に期待値以上というのが該当するのか。</p>
事務局	<p>契約に規定されている以上のことが行われたところにのみA評価となる。契約通りの内容が履行されていればBで、契約が満たされなければCである。</p>
委員	<p>では、Aはプラスアルファがあった場合の評価ということか。</p>
事務局	<p>お見込みの通り。果たす義務はないが、本来果たすべきことを果たした上で、さらにプラスアルファまで果たしたということである。</p>

委員	プラスアルファがないとBの評価がつくということか。
事務局	お見込みの通り。評価が分かりにくいかもしれない。
議長	社会通念上、委員の言うとおりに普通に実施していればA評価となるところだが、この評価基準では、S (Special) という評価基準が無いので、それに当たるのがAになってしまう。要するに包括委託業務であるから工夫はしているが、よほど目立ったことを新機軸として打ち出し、実施しないとAは取れないということである。この評価基準では、普通に基準を満たしているだけではBになるということである。今後、評価基準を設定する時に、Sを追加するなど検討していただけたらと思う。
事務局	次回、令和8年度に更新時期となることから、評価基準も少し考えたいと思う。
議長	よろしくお願ひしたい。それでは、令和4年度上下水道事業包括委託モニタリング結果についての報告は、以上とする。 続いて、案件3「令和5年度戸田市上下水道事業予算について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	【令和5年度水道事業予算についての説明】
事務局	【令和5年度下水道事業予算についての説明】
議長	この後の案件4の雨水整備事業についても先に説明いただいてから全体を通じて質疑応答にするので、先に説明をお願いします。
事務局	【雨水整備事業についての説明】
議長	建設現場の工事の視察というのはいつ頃できる予定か。
事務局	だいたい3月頃を予定している。

議長	<p>来年の3月、ぜひ見学したいと思う。委員の皆様も実際に見学していただくと、理解が深まると思うので、ぜひ参加していただきたい。本日は膨大な量の報告があったので、今すぐに質疑というのも難しいと思うので、会議終了後、わからないことがあったら事務局に問い合わせいただければと思うので、よろしく願いしたい。予定の時間も迫ってきたので、本日の議題は終了とする。</p> <p>それでは、進行を事務局に返す。</p>
事務局	<p>【閉会】</p>